



## はちみつはどうやって作るの

### ミツバチが集めてきたみつ

はちみつは、花から花へと飛び回るミツバチが、花のみつを集めてできたものなのです。わたしたちが食べているはちみつは、ミツバチを専門に飼っている人によって育てられたミツバチが、集めたものなのです。

ミツバチを専門に飼っている人を、養蜂家といいます。この人たちは、はちみつに適した花がたくさんある場所をさがして、ミツバチを入れる巣箱をもって、日本中を旅しているのです。

ミツバチは、草や木の花から花へと飛び回って、花のみつを集めます。そして、そのみつに、ミツバチは自分のだ液（つばのこと）を混ぜていきます。すると、花のみつが少し変化し、あのはちみつができていくというわけです。ミツバチたちは、そのはちみつをせっせと巣に運んで、食料としてたくわえます。人間は、そのみつを食べているのです。

### はちみつのかおり

はちみつは、ミツバチがどの花からみつを集めたかによって、かおりに特長があります。レンゲの花からみつばちが集めたものだと、レンゲ特有のかおりがあり、ミカンではミカンのかおりがします。日本では、レンゲのかおりがするはちみつが好まれるようです。

（監修・青木 国夫）

